

小学生向けキャリア教育「わたしたちのまち」 出前授業のご案内

2026 年度

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

「わたしたちのまち」とは

教室でストーリーにそって考えたり活動しながら、わたしたちをとりまく「まち」のなりたちや自分の関わり、「まち」の仕事を楽しく学びます。この体験をきっかけに、自分の身の回りからまち全体を支える仕事に視野を広げ、ご飯を食べたり買い物をしたり、お小遣いをもらうなど、自分たちが普段あたりまえに送っている生活が、みんなが仕事をして支え合っているから可能であることを意識し、将来どのような仕事を通じて社会を支えるか考えるきっかけ作りを目指します。(米国本部のオリジナルプログラム「Our Community」をアクセンチュア株式会社の支援で日本版を作成いたしました)なお、**現在期間限定で無料の出前授業を全国で実施しています。予算が無くなり次第終了するため、お早めにリクエストをお願いいたします。**

大切にしていること：

1. 「正しい答え」を求めるのではなく、自由な発想・発言を促します。
2. Teach (教え込む)ではなく Inspire (気づきを引き出す)する体験型学習です。
3. 自分とまちの繋がりを感じ、好奇心を持って仕事に対する視野を広げるきっかけ作りとなります。

対象学年

小学校 3～6 年生 (学年によって内容が変わります。下記セッション概要参照)

スケジュール

遅くとも 1 ヶ月前までに、ご希望の日時 (連続 2～3 コマ、授業時間数によって内容が変わります)
平日・土曜日を問いません

準備物等

- 会場にスクリーンまたは大型、モニター、プロジェクター
- 児童各自に、色鉛筆またはクーピー、ハサミ
- 各班に模造紙 1 枚、カラーマッキー 1 セット
- 各班のリーダー (店長役) をあらかじめ決めていただきます
- 上記以外の教材はジュニア・アチーブメント日本より提供



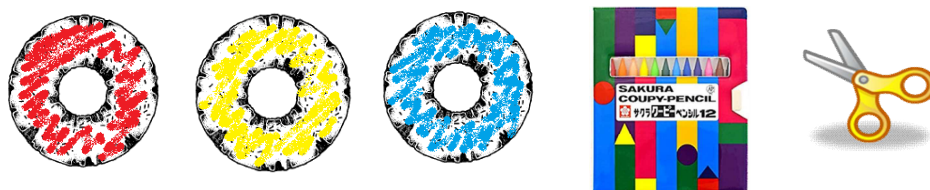
各セッションの説明 時間や進行の都合により変更されることもあります

セッション1：「まちにある仕事を探そう」

まちの仕事を挙げて、モノ/サービスを売る仕事や公務員に分類、様々な職業があることを学びます。

セッション2：「もの作りの仕事をやってみよう：ドーナツ屋さん体験」

紙のドーナツ屋さんでものを作る仕事を体験し、仕事は協力して工夫しながら行うことを体験。高学年では、材料を仕入れ、商品の検品、利益計算するプロセスが加わり、無駄を出さずにより多くの商品を製造することで、売上・コスト・利益の概念を理解します。



セッション3：「より良いまち作りと税金」

対象学年が3～4年生の場合や、授業時間が2コマの場合は、「税金とは」のみになります。自分の住むまちをより良くするために、ケーススタディを用いてどの問題をどのように解決するか投票を行い、選挙と意思決定の重要性を知ります。また、税金とは何か、納める理由とそれがいかに自分たちの生活役立っているのかを理解します。



セッション4：「ドーナツはなぜ食べられる？」

ドーナツを食べるまでに関わっている様々な仕事・業種を自由に書き出すブレインストーミングです。これまでのセッションを通じて、身の回りのモノやサービスは、多くの大人が仕事をしているから享受できることを理解するためのふりかえり作業となります。児童は、人々が仕事を通じて支えあっていることで、まちや国、世界が成り立っていることに気づき、将来自分がどんな仕事を通じて社会の一員になるか、今から考えながら日常生活を送るきっかけ作りを目指します。

出前授業のお申込み・お問合せ：黒木 yorikr@ja-japan.org まで